

地方独立行政法人奈良県立病院機構中期計画

目次

第3期中期計画の策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
シンボルマーク・・・・・・・・・・・・・・・・	2
法人の理念・・・・・・・・・・・・・・・・	2
法人の決意・・・・・・・・・・・・・・・・	2
I 最適な医療の提供	
1 患者の視点に立った医療サービスの提供・・・・・・・・	3
2 高度医療の提供・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3 地域の医療拠点としての機能の充実・・・・・・・・	8
4 新西和医療センターの移転・再整備の推進・・・・・・・・	11
II 地域の医療力向上への貢献	
1 地域の医療機関等との役割分担と連携強化・・・・・・・・	12
2 地域の医療機能の向上のための支援・・・・・・・・	14
3 医療DXの推進・・・・・・・・・・・・・・・・	15
4 災害医療体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・	16
5 県民への医療・健康情報等の提供・・・・・・・・	17
III 優れた人材の確保・育成	
1 優れた医療人材の確保・育成・・・・・・・・	18
2 働き方改革の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	20
3 看護大学校の移転・再整備の推進・・・・・・・・	22
4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成・・・・・・・・	23
IV 安定した法人経営	
1 ガバナンス体制の充実・・・・・・・・	24
2 安定した経営基盤の確立・・・・・・・・	25
V 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画 ・・・・・・・・	30
VI 短期借入金の限度額 ・・・・・・・・	30
VII 出資に係る不要財産の処分に関する計画 ・・・・・・・・	30
VIII 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ・・・・・・・・	30
IX 剰余金の使途 ・・・・・・・・	30
X 料金に関する事項 ・・・・・・・・	30
XI 県の規則で定める業務運営に関する事項 ・・・・・・・・	30

第3期中期計画の策定にあたって

地方独立行政法人 奈良県立病院機構（以下、当機構）は、平成26年4月に設立されました。当時を思い返すと、奈良県総合医療センター（旧奈良県立奈良病院）、奈良県西和医療センター（旧奈良県立三室病院）、奈良県総合リハビリテーションセンターの3つの医療センターと、教育・研修施設は、奈良校と三室校の2つの看護専門学校、医療専門職教育研修センターの3つで構成されていました。その後、奈良県総合医療センターは平成30年5月に現在の地に移転し、看護専門学校は平成29年4月に三室校舎を増改築して統合、令和4年4月には4年制の奈良看護大学校に移行しました。また、令和5年12月には、西和医療センターの移転建替の候補地が決定し、気付けば節目の設立10年目が経過します。

当機構は、県が定めた中期目標に沿い、第1期（平成26年度～30年度）は、救急医療、周産期医療、専門的ながん医療、小児医療、糖尿病治療、精神医療、災害医療の7領域の充実を軸とした中期計画を策定し、全職員が目標を達成すべく、それぞれの施設で診療・教育の充実に努めました。平成30年度、新しい奈良県総合医療センターでの診療開始により、実績は向上しました。

そして、第2期（令和元年度～5年度）は、「患者によし、地域によし、職員によし」の「三方よし」を実践し、奈良県の医療レベルの向上に貢献することを謳った中期目標を県が策定したことを受けて、「患者にとって最適な医療の提供」、「地域の医療力向上への貢献」、「最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成」及び「自立した法人経営」の4つの柱立てをした中期計画を定めました。その計画期間の1年目が終わろうとする時期に、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の危機に直面しました。未知のウイルスに対し、手探り状態ではありましたが、公的病院として全職員が一丸となって、感染者の診療・職員の感染防止に積極的に対応した結果、3年間コロナ感染症の影響は受けながらも、各指標を概ね達成することができている見込みです。

この度、上記の成果・課題を踏まえるとともに、県により示された第3期中期目標に従い、令和6年度からの5年間を見据えた第3期中期計画を策定しました。県民が求める高度・専門的な医療を安定的かつ継続的に提供するために、3つの医療センターがそれぞれ計画に沿って、最大限に機能を発揮します。提供する医療の質を高め、引き続き公的病院としての責務を果たすとともに、安定した経営基盤の確立に向け更なる業務改善を進め、邁進いたします。

さて、令和6年4月からは、「医師の働き方改革」の新制度が開始されます。これまで、当機構では、医師の献身的な診療体制で維持してきましたが、医師だけでなく医療従事者等の働き方改革を進め、全職員が誇りややりがいを持って働くことができる健全な職場環境をつくり、次代を担う医療人の育成に引き続き取り組みます。

令和6年3月

地方独立行政法人奈良県立病院機構

理事長 上田 裕一

シンボルマーク



患者、県民を表す球を優しく守るように包む
2枚の葉が、それぞれ「医の心」と「医の技」を
表しています。

奈良の豊かな山々「青垣」をイメージする
グリーンをイメージカラーとしています。

法人の理念

“医の心と技”を最高レベルに磨き、
県民の健康を生涯にわたって支え続けます。

法人の決意

3つの医療センターが持つそれぞれの機能を最大限発揮し、県民が求める高度・専門的な医療の安定的かつ継続的な提供に取り組めます。

地域における医療提供体制の充実・強化に向けて、地域の医療機関との機能分担及び医療・介護・福祉との連携強化に取り組めます。

機構の全職員が協力し、医の心と技を最高レベルに磨くことに努めるとともに、働き方改革を進め、誇りややりがいを持って働くことができる職場環境をつくり、次代を担う医療人の育成に取り組めます。

※ 次ページ以降の「第3 目標の設定」において、総合医療センターは「総合」、西和医療センターは「西和」、総合リハビリテーションセンターは「リハ」、奈良看護大学は「看大」、医療専門職教育研修センターは「研修セ」、法人本部事務局は「本部」、各病院（総合、西和及びリハ）は「3センター」、すべての所属（総合、西和、リハ、看大、研修セ、本部）は「法人全体」と表記します。

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目Ⅰ 患者の視点に立った医療サービスの提供

中期計画

患者中心の医療を実践するため、患者や家族が十分な理解と信頼の下に検査・治療を受けられるよう、入院前に外来において医師による説明を行い、患者・家族の熟慮する時間を確保し、インフォームド・コンセントの一層の改善を図ります。

また、ISO9001の認証登録の取組みを継続するとともに、多職種によるチーム医療を推進し、医療の質を高めます。

取組項目

Ⅰ 患者満足度の向上

具体的な 行動計画

✓十分な説明を行った上で、患者の意思を尊重して医療を提供します

評価指標 (定性的)

○インフォームド・コンセントに関する患者満足度調査を実施し、説明内容・説明対応を分析し改善

総合、西和及びリハにおいて、令和6年度に実施する患者満足度調査からインフォームド・コンセントに関する質問を追加し、回答内容を分析し、改善に努めます。

評価指標 (数値)

○診察（検査）の待ち時間

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	30分	25分	25分	25分	25分	25分
西和	28分	25分	25分	25分	25分	25分
リハ	28分	25分	25分	25分	25分	25分

2 ISO9001の認証登録

具体的な 行動計画

✓ISO9001維持・更新に向け取組みを推進します

評価指標 (定性的)

○ISO9001の維持・更新に向けた進捗

総合、西和、リハ、看大、研修セ及び本部が取得しているISO9001について、毎年の維持審査及び3年に1度の更新審査を通過できるよう、内部監査等により品質維持に努めます。

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目Ⅰ 患者の視点に立った医療サービスの提供（続き）

中期計画

取組項目

3 インシデント・アクシデント報告・要因分析

具体的な
行動計画

✓インシデント・アクシデントレポートによる要因分析を推進します

評価指標
(定性的)

○要因分析を基にした改善

総合、西和及びびりハにおいて、報告されたインシデント・アクシデントレポートを多職種で共有し、要因の分析に努め、対策を立案し、周知を行う等の改善に向けた取組みを行います。

4 多職種によるチーム医療

具体的な
行動計画

✓多職種によるチーム医療を推進します

評価指標
(定性的)

○多職種によるチーム医療の導入に向けた進捗

総合、西和及びびりハにおいて、複数主治医制の導入診療科を順次拡大する等のチーム医療の導入に向けた体制の整備に努めます。

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目Ⅱ 高度医療の提供

中期計画

県の医療政策を推進する役割を積極的に担うため、高度・専門医療において、変化に応じた最適な医療を提供します。

取組項目

Ⅰ 低侵襲手術、放射線治療、化学療法

具体的な行動計画

- ✓高難度手術、外来化学療法や最新の放射線治療を充実します
- ✓がんゲノム医療を推進します

評価指標（数値） ○高難度手術（E、D難度）の実施件数（がん手術以外も含む）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	6,369件	6,600件	6,700件	6,800件	6,800件	6,800件
西和	2,220件	2,450件	2,500件	2,550件	2,600件	2,650件

評価指標（数値） ○外来化学療法の実施件数（実人数）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	1,145件	1,160件	1,170件	1,180件	1,190件	1,200件
西和	143件	190件	190件	190件	190件	190件

評価指標（数値） ○高精度（強度変調放射線治療・定位照射）の放射線治療の実施件数（実人数）

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	256件	350件	350件	400件	400件	400件

評価指標（定性的） ○緩和ケアの充実

総合及び西和において、緩和ケアの人員及び体制の充実を図るとともに、緩和ケアチームの対応件数を増加させるように努めます。

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目Ⅱ 高度医療の提供（続き）

中期計画

取組項目

2 消化器病に係る医療体制

具体的な 行動計画

✓消化器領域の先進的医療を導入・実施します

評価指標 (定性的)

○消化器領域の先進的医療を導入・実施に向けた進捗

総合及び西和において、消化器領域の先進的医療の導入・実施に向けた取組みの推進に努めます。

3 造血幹細胞移植（骨髄移植含む）

具体的な 行動計画

✓造血幹細胞移植等（骨髄移植を含む）の実施に向けて体制を整備します

評価指標 (定性的)

○骨髄移植・造血幹細胞移植等の実施に向けた体制整備の進捗

総合において、骨髄移植・造血幹移植等の実施に向けた体制整備に努めます。

4 脳卒中・循環器病に係る救急体制

具体的な 行動計画

✓脳卒中、循環器病に係る救急体制を充実します

評価指標 (数値)

○脳卒中の緊急治療件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	537件	600件	610件	610件	620件	650件
西和	261件	360件	370件	380件	390件	400件

評価指標 (数値)

○循環器病の緊急治療件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	353件	400件	410件	410件	420件	450件
西和	379件	440件	450件	460件	480件	500件

大項目Ⅰ 最適な医療の提供
中項目Ⅱ 高度医療の提供（続き）

中期計画

取組項目

5 ICU・CCU・SCUの充実

具体的な
行動計画

✓脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施します

評価指標
(定性的)

○脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施に向けた進捗

総合及び西和において、脳神経・循環器領域の先進的医療を導入・実施に向けた取組みの推進に努めます。

○ICU … 集中治療室
○CCU … 循環器集中治療室
○SCU … 脳卒中集中治療室

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目3 地域の医療拠点としての機能の充実

中期計画

県の医療計画を踏まえ、救急医療、小児・周産期医療等の拠点としての役割を一層果たしていけるよう、機能強化に取り組みます。

精神医療については、総合医療センターにおいて、精神科救急・身体合併症患者の受入を継続します。

また、リハビリテーションセンターを中心に、総合医療センター・西和医療センターにおいても発達障害児の診療を充実します。

取組項目

Ⅰ E R体制の充実

具体的な 行動計画

✓ E R体制を充実します

評価指標 (数値)

○ E R・総合診療科の医師数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	17人	15人	16人	17人	17人	18人

評価指標 (数値)

○ E R・総合診療科の看護師数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	33人	40人	40人	40人	40人	40人

2 応需件数の目標設定

具体的な 行動計画

✓ 目標の応需ができるような体制を整備します

評価指標 (数値)

○ 救急搬送応需件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	6,525件	7,200件	7,300件	7,400件	7,400件	7,500件
西和	3,129件	4,100件	4,200件	4,300件	4,400件	4,500件

評価指標 (数値)

○ 救急搬送応需率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	79.3%	90.0%	92.0%	92.0%	92.0%	93.0%
西和	62.9%	76.0%	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目3 地域の医療拠点としての機能の充実（続き）

中期計画

取組項目

3 小児救急、小児外科

具体的な行動計画

- ✓小児救急受入体制を充実します
- ✓小児外科の診療を充実します

評価指標（数値）

○小児救急搬送応需件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	1,672件	1,700件	1,750件	1,750件	1,750件	1,750件
西和	417件	600件	600件	600件	600件	600件

4 ハイリスク妊婦、新生児の受入れ

具体的な行動計画

- ✓分娩・母体搬送対応体制を充実します

評価指標（数値）

○ハイリスク妊婦の救急搬送応需件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	108件	100件	100件	100件	100件	100件

5 急性期リハビリ

具体的な行動計画

- ✓心臓、呼吸器、脳血管などの急性期リハビリを充実します

評価指標（数値）

○急性期リハビリ実施件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	80,568件	81,000件	82,000件	82,000件	82,000件	82,000件
西和	62,500件	72,000件	72,000件	72,000件	72,000件	72,000件

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目3 地域の医療拠点としての機能の充実（続き）

中期計画

取組項目

6 回復期リハビリ

具体的な 行動計画

✓ADL改善支援を強化します

評価指標 (数値)

○リハビリ在宅復帰率の向上

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	91.6%	92.2%	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%

評価指標 (数値)

○機能的自立度評価法による得点の向上

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	28点	28点	28点	28点	28点	28点

7 感染症パンデミックへの対応

具体的な 行動計画

✓新興感染症・感染症パンデミックへの即応体制を堅持します

評価指標 (定性的)

○新興感染症・感染症パンデミックへの即応体制の堅持に向けた進捗

新興感染症発生時には、総合及び西和において、発熱外来の設置や受入病床を確保し、重症患者等を受け入れる体制を堅持します。そのため、平時から医療体制や必要な備品等を整備するとともに、新興感染症発生時には迅速に体制移行を円滑に行うことができるように備えます。

また、地域の医療機関との連携による感染症対策や院内外における感染管理活動を推進することにより、地域の中核的な役割を果たします。

大項目Ⅰ 最適な医療の提供

中項目4 新西和医療センターの移転・再整備の推進

中期計画

西和医療センターについては、令和6年度にとりまとめる整備基本計画に則り、計画的に整備を進めます。

取組項目

Ⅰ 基本構想、基本計画による整備の推進

具体的な 行動計画

✓県と病院機構において、マイルストーンを押さえ、計画的に事業を進めます

評価指標 (定性的)

○新病院整備に向けたスケジュールに基づいた進捗

令和6年度中には「新西和医療センター整備基本計画」を策定し、令和13年度の移転開院に向けて、県と機構が協力して事業執行に努めます。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
基本計画の策定	基本設計	実施設計	建築・整備				移転開院
用地測量	用地買収						

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目Ⅰ 地域の医療機関等との役割分担と連携強化

中期計画

地域包括ケアシステムにおける役割を果たすため、地域の医療機関と機能・役割分担を明確にするとともに、地域の福祉・介護関係機関、行政等との連携を強化します。
また総合医療センター・西和医療センターにおいては、地域医療連携推進法人の活用も含めた連携を推進します。

【地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能】

- 総合：高度急性期から在宅医療まで地域で提供できるよう、近隣の医療機関と更なる連携を深め効率的な医療提供体制を実施します。当センターで果たすべき高度急性期医療を継続して実施します。
- 西和：在宅療養後方支援病院として、地域の医療機関や地元7町の地域包括支援センターとの連携を強化することで、西和地域における地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を支援します。
- リハ：地域の医療機関、福祉・介護関係機関と連携し、回復期のリハビリテーションの提供及び退院後のフォローアップに努めます。

取組項目

Ⅰ 病病連携、病診連携、病福連携

具体的な
行動計画

- ✓病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介を促進します
- ✓福祉・介護事業と医療の連携を強化します

評価指標
(数値)

○紹介率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	66.2%	70.0%	70.0%	75.0%	75.0%	80.0%
西和	74.6%	83.0%	84.0%	85.0%	85.0%	85.0%

評価指標
(数値)

○逆紹介率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	82.6%	85.0%	90.0%	90.0%	95.0%	100.0%
西和	94.3%	105.0%	106.0%	106.0%	106.0%	106.0%

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目Ⅰ 地域の医療機関等との役割分担と連携強化（続き）

中期計画

取組項目

Ⅰ 病病連携、病診連携、病福連携（続き）

具体的な行動計画 ✓病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介を促進します
 ✓福祉・介護事業と医療の連携を強化します

評価指標
 （数値） ○地域交流会開催件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	4件	5件	5件	5件	5件	5件
西和	38件	30件	30件	30件	30件	30件
リハ	3件	11件	12件	13件	14件	15件

評価指標
 （数値） ○脳卒中地域連携パス件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
リハ	78件	82件	84件	86件	88件	90件

2 医療機関との更なる連携の推進

具体的な行動計画 ✓地域医療連携推進法人制度の活用も含め、近隣の医療機関との更なる連携を推進します

評価指標
 （定性的） ○地域医療連携推進法人制度活用に向けた進捗

総合及び西和において、地域医療連携推進法人制度の活用に向けた取組みの推進に努めます。

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目2 地域の医療機能の向上のための支援

中期計画

地域の医療力向上を目指し、学術集会・教育研修の機会を提供することで地域医療従事者の資質向上を支援します。

取組項目

I 学術集会、研修会等の開催

具体的な 行動計画

✓地域の医療従事者に学術集会・教育研修の機会を提供します

評価指標 (数値)

○地域医療従事者向け知識（講座）修得研修の参加人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	282人	300人	310人	330人	340人	360人
西和	573人	600人	600人	650人	650人	650人
リハ	70人	100人	100人	100人	100人	100人

評価指標 (数値)

○救命救急士等の技術（実習）修得研修の受入人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	74人	70人	70人	70人	70人	70人
西和	55人	70人	70人	70人	70人	70人

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献
中項目3 医療DXの推進

中期計画

令和7年度の3センターによる医療情報システム基盤の統合を核として、各種データやデジタル技術の積極的な活用を推進し、患者サービスの向上や医療の質向上、業務の課題解決・効率化を進めます。また最新の医療情報システムの安全管理に関するガイドラインを踏まえた情報セキュリティ対策の徹底を図ります。

取組項目

I 3センターの医療情報システム基盤の統合、医療DXの推進

具体的な
行動計画

✓ 3センターの電子カルテを中心とした医療情報システムの更新を県と協議の上、計画的に進めます

評価指標
(定性的)

○電子カルテ導入に向けた進捗

3センターにおいて、共通の電子カルテシステム導入に向けて、県と協議のうえ、計画的な事業執行に努めます。
業務におけるモバイル利用を強化します。
バックアップやサイバーセキュリティ対策を盛り込んだシステム構築を行います。

評価指標
(定性的)

○ICTを活用した業務の効率化に向けた進捗

3センターにおいて、ICTを活用した業務の効率化に向けて、計画的な事業執行に努めます。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
医療情報システム基盤 の統合	システム構築	稼働			▶

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献

中項目4 災害医療体制の強化

中期計画

地域災害拠点病院として、DMATの充実や災害備蓄品等を整備し、BCP等に基づいた訓練を継続的に実施するとともに、県内の地域災害拠点病院及び消防、自治会等の関係機関と連携を密にし、県から求められる役割等に応じた災害医療を適切に提供します。

取組項目

1 業務継続計画（BCP）の充実

具体的な行動計画 ✓業務継続計画（BCP）を適宜更新し、充実を図ります
✓自院被災等を想定した訓練を充実します

評価指標（数値） ○自院被災を想定した院内防災訓練の実施回数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	2回	2回	2回	2回	2回	2回
西和	2回	2回	2回	2回	2回	2回
リハ	3回	3回	3回	3回	3回	3回

評価指標（定性的） ○自院被災を想定した院内防災訓練の内容の充実

総合、西和及びリハにおいて、毎年度実施する自院被災を想定した院内防災訓練の実施状況を踏まえて、次年度の訓練に向けた内容の充実に努めます。

2 DMAT隊員の養成

具体的な行動計画 ✓DMAT隊員の養成を推進します

評価指標（数値） ○DMAT要員の配置人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	19人	25人	25人	25人	25人	25人
西和	14人	13人	13人	13人	13人	13人

大項目Ⅱ 地域の医療力向上への貢献
中項目5 県民への医療・健康情報等の提供

中期計画

ホームページ等の広報媒体を通じ、病院の特色や取り組み内容、県立病院として担う役割等について、県民目線に立った分かりやすい情報発信に努めます。また公開講座等の積極的な健康情報の提供など、地域に対して積極的に情報発信を行います。

取組項目

1 医療・健康情報等の広報

具体的な行動計画 ✓HP、SNS、病院年報等を活用して経営状況、稼働状況、臨床指標、各病院の医療機能などの公表を推進します

評価指標（定性的） ○HP等を活用した広報に向けた進捗

総合、西和及びリハにおいて、HP等を活用した広報の充実に努めます。

2 公開講座等の開催

具体的な行動計画 ✓公開講座等による医療・健康情報の提供を推進します

評価指標（数値） ○地域住民向け公開講座の参加人数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	298人	320人	340人	380人	420人	450人
西和	開催中止	200人	200人	250人	250人	250人
リハ	338人	350人	350人	350人	350人	350人

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目Ⅰ 優れた医療人材の確保・育成

中期計画

機構の役割及び医療機能を最大限発揮するため、人材の確保に努めるとともに、医療専門職教育研修センターの活動を充実し、職員の育成・定着を図ります。
継続的に医師不足に直面する地域での研修医の地域医療研修を行います。
また、看護大学校の教育レベルの向上を目指します。

取組項目

Ⅰ 初期臨床研修、専門医修練プログラムの充実

具体的な 行動計画

- ✓ 卒後臨床研修評価機構の認定取得を推進します
- ✓ 日本専門医機構の認証制度を推進します

評価指標 (定性的)

○ 初期臨床研修医フルマッチの維持

総合及び西和において、初期臨床研修医のフルマッチの維持に努めます。

評価指標 (数値)

○ 専門医認定機構の認証プログラムを受講する専攻医数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	54人	56人	56人	58人	58人	60人
西和	11人	11人	11人	11人	11人	11人

2 医療専門職教育研修センターの活動

具体的な 行動計画

- ✓ 全職員向け研修及び職種別・職位別研修を充実します
- ✓ 臨床研究の充実のための組織（仮称：地域医療改善研究所）を設置します

評価指標 (数値)

○ 全職員向け研修及び職種別・職位別研修の開催件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
研修セ	16件	16件	16件	16件	16件	16件

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目Ⅰ 優れた医療人材の確保・育成（続き）

中期計画

取組項目

2 医療専門職教育研修センターの活動（続き）

具体的な行動計画（再掲）

- ✓全職員向け研修及び職種別・職位別研修を充実します
- ✓臨床研究の充実のための組織（仮称：地域医療改善研究所）を設置します

評価指標（数値） ○全職員向け研修及び職種別・職位別研修の参加者数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
研修セ	1,306人	1,400人	1,500人	1,600人	1,600人	1,600人

評価指標（定性的） ○臨床研究の充実のための組織の設置に向けた進捗

研修セにおいて、臨床研究の充実のための組織の設置に向けて、令和6年度から令和8年度は調査のうえ、計画を立て、令和9年度は試行し、令和10年度には正式に設置します。

3 奈良看護大学校の活動（教育レベルの向上・教育環境の充実）

具体的な行動計画

- ✓国家試験合格率95%を達成する取組を推進します
- ✓教員の教育実践力・看護実践力を向上します

評価指標（数値） ○看護師国家試験合格率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	92.5%	卒業生なし	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%

評価指標（数値） ○機構への入職率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	60.0%	卒業生なし	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

評価指標（数値） ○県内病院への入職率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
看大	78.8%	卒業生なし	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

※令和4年4月1日から4年制に移行したため、令和6年度末の卒業生はいない。

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目2 働き方改革の推進

中期計画

働きやすい職場づくりを目指すとともに、超過勤務の縮減に取り組めます。

より質の高い医療を提供できるよう、多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティングを推進するとともに、医療DXも活用し、業務の効率化を図るなど医師の働き方改革を計画的に進めます。

取組項目

1 働きやすい職場づくり

具体的な行動計画

- ✓ワークライフバランスを実現します
- ✓障害者雇用を促進します

評価指標 (数値)

○職員アンケート調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した職員の割合

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	55.5%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

評価指標 (数値)

○障害者雇用率

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	2.36%	2.80%	2.80%	3.00%	3.00%	3.00%

2 超過勤務の縮減

具体的な行動計画

- ✓働き方改革のため超過勤務時間を適切に管理します

評価指標 (定性的)

○超過勤務時間の適切な管理に向けた進捗

令和6年度から実施の医師の働き方改革への対応も含め、医療従事者の超過勤務縮減を始めとする労働時間の適切な管理、健康確保措置に努めます。

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目2 働き方改革の推進（続き）

中期計画

取組項目

3 タスクシェア・タスクシフト

具体的な 行動計画

✓多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティングを推進します

評価指標 (定性的)

○多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティング導入に向けた進捗

総合、西和及びリハにおいて、多職種でのタスクシェアリング・タスクシフティング導入に向けた取組みの推進に努めます。

評価指標 (定性的)

○特定行為研修の組織定着に向けた取組み

特定行為研修の受講と修了者の活動を推進する取組みを、組織的かつ継続的に行い、活動環境整備による特定行為実施件数増加の取組みを推進します。

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目3 看護大学校の移転・再整備の推進

中期計画

看護大学校について、将来の県の医療を支える優秀な看護人材を養成するため、今後策定する看護大学校基本構想・基本計画等に基づいた全面的な建替えによる再整備を進めます。

取組項目

Ⅰ 基本構想、基本計画による整備の推進

具体的な 行動計画

✓県と病院機構において、マイルストーンを押さえ、計画的に事業を進めます

評価指標 (定性的)

○新看護大学校整備に向けたスケジュールに基づいた進捗

「新看護大学校整備基本構想」及び「新看護大学校整備基本計画」を策定し、それらに基づき、県と機構が協力した事業執行に努めます。

大項目Ⅲ 優れた人材の確保・育成

中項目4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成

中期計画

事務部門の専門性の向上を図り、医療制度や経営環境の変化等に的確に対応できる事務職員を確保・養成します。

取組項目

Ⅰ 事務職員のマネジメント力の向上

具体的な 行動計画

✓職員のスキルアップを目指します

評価指標 (定性的)

○職務・職位別のキャリアパスの整備の進捗

本部において、職務・職位別のキャリアパスの整備の推進に向けた取組みの推進に努めます。

大項目Ⅳ 安定した法人経営

中項目Ⅰ ガバナンス体制の充実

中期計画

機構の理念、関係法令等の遵守について職員の意識を向上させるとともに、日々の業務を通じて規程・基準の点検・改善を行うことにより、ガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底を図り、病院運営の適正化や透明性の確保に努めます。

取組項目

Ⅰ 医療施設職員としての意識向上

具体的な行動計画

✓法人理念の浸透・共有を推進します

評価指標 (数値)

○職員アンケート調査で「法人の理念や中期目標を意識して行動している」と回答した職員の割合

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	73.9%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

2 マニュアル、規程の整備（ISO関連）

具体的な行動計画

✓適正な業務推進のため、マニュアル・規程を整備し、職員に周知・徹底します

評価指標 (数値)

○ISO内部監査の改善取り組み実施の件数

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合	30件	30件	30件	30件	30件	30件
西和	58件	45件	40件	40件	40件	40件
リハ	28件	30件	20件	20件	15件	15件
看大	-件	2件	2件	2件	2件	2件
研修セ	-件	3件	3件	2件	2件	2件
本部	-件	15件	13件	11件	9件	7件

3 組織文化の醸成

具体的な行動計画

✓「報告する文化」を維持・推進します

評価指標 (数値)

○職員アンケート調査で「職場の上司や先輩に相談しやすい雰囲気である」と回答した職員の割合

区分	実績	目標				
	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	65.4%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

大項目Ⅳ 安定した法人経営

中項目2 安定した経営基盤の確立

中期計画

病院機構の経営状況は、これまでのコロナ感染症への対応や、その間の重症急性期患者等への対応に万全を期すべく体制を強化したこと、医師の働き方改革への対応を進めたことなどにより給与費が大幅に増加し、加えて、物価高騰等のため、医薬材料費、業務委託費、光熱水費などが増加したこと等により、収支が急激に悪化しています。安心して医療を安定的に供給するためには、このような状況からの早期脱却が必要です。このため、収支改善策を策定し、収益アップと費用適正化の両面からの取組を機構職員が一丸となって進めます。

取組項目

Ⅰ 収支改善策に基づく取組の推進

目標

収益アップと費用適正化の徹底により、毎年の決算において確実に収支改善を進め、今後予定されている新西和医療センター整備等にも対応できる経営体質を確立します。

○医業収益のアップ

具体的な行動計画

✓各センターが保有する医療資源を効率的に活用し、医療サービスの充実と収益アップ・収支改善を両立します。

評価指標 (数値)

○医業収益アップ（令和5年度比）

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	+21.0億円	+27.6億円	+30.8億円	+30.8億円	+30.8億円

【主な収益アップの取組】

(単位:百万円)

項目		収益
総合医療センター	病床稼働率の上昇	806
	病床数拡大（休床病床を新たに稼働させることで、収益を増加）	558
	土曜日の手術実施	28
	有料個室算定率の向上（入院前からの患者支援・調整の実施）	101
	リハビリ診療充実	71
	診療報酬加算の取組、文書料・選定療養費等の改定 他	158
	計	1,722
西和医療センター	病床稼働率の上昇（一次脳卒中センターコアの設置 他）	1,138
	リハビリ診療の充実	14
	夜間看護補助体制加算取得、各種検査の増 他	53
	計	1,205
リハビリテーションセンター	病床稼働率の上昇	53
	リハビリ診療の充実	70
	外来患者数の増加（小児科の充実）	25
	有料個室算定率の向上	6
	計	154

大項目Ⅳ 安定した法人経営

中項目2 安定した経営基盤の確立（続き）

中期計画

取組項目

○費用の適正化

具体的な 行動計画

✓増加傾向にある各医業費用について、その要因を分析し、見直し・スリム化等の取組のもと適正化を進めます。

評価指標 (数値)

○給与費比率の低減

区分	目標				
	令和6年度実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	55.5%	53.8%	51.7%	50.7%	50.2%

医師の働き方改革への対応や各センターの運営状況等を踏まえつつ、職種別職員定数に基づき、人員の適正配置を進めます。

評価指標 (数値)

○材料費比率の低減

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	36.5%	37.0%	36.6%	36.6%	36.6%

多職種で取り組む診断材料プロジェクトにより、材料の見直しや調達合理化（共同購入の拡大等）など材料費低減に取り組めます。

【具体的な取組】

- ・非償還材料の節減、DPC出来高比較による診療材料、薬品の見直し
- ・ジェネリック医薬品、バイオシミラーの拡大、在庫管理の厳格化による節減
- ・汎用試薬の利用による薬品費の削減
- ・診療材料の共同購入への切替 など

評価指標 (数値)

○経費比率の低減

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	19.0%	18.8%	18.6%	17.7%	17.7%

医事業務や施設管理業務の内容を四半期毎に点検し、業務仕様等を積極的に見直します。また、調達全般にわたって、可能かつ合理的なものについて3センター共同調達を進めます。

大項目Ⅳ 安定した法人経営

中項目2 安定した経営基盤の確立（続き）

中期計画

○機構内3センターの診療連携の拡大

具体的な 行動計画

✓機構内3センターが有する機能や医療資源を各センターが相互に有効活用することで、個々の患者によりよい医療を提供していきます。

評価指標 (定性的)

○相互機能の発揮と診療連携の拡大

【具体的な取組】

- ・総合医療センター、西和医療センターによる周産期医療連携体制の強化
- ・総合医療センター、西和医療センターの3次救急等連携ホットラインの運用
- ・西和医療センターの術後患者を総合医療センターで放射線治療
- ・総合医療センター、西和医療センターで急性期から回復した患者をリハビリテーションセンターへ受け入れ

※ 収支改善策の各取組については、進捗状況等を毎年検証し一層の成果を上げるべく、診療報酬改定や物価高など病院経営を取り巻く環境を踏まえつつ、鋭意見直しを行います。

その際には、各センターの診療科毎の分析を行い、医療圏域内の診療機関との連携など、そのあり方の検証・見直しを必要に応じて進め、安定した法人経営を実現してまいります。

大項目Ⅳ 安定した法人経営

中項目2 安定した経営基盤の確立（続き）

中期計画

取組項目

2 経営指標による管理徹底

具体的な 行動計画

✓日次・週次・月次で経営指標を把握・分析し、迅速に改善策を実行します。

評価指標 (数値)

○経常収支比率

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	92.1%	91.2%	92.9%	95.3%	96.2%

評価指標 (数値)

○医業収支比率

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	91.7%	91.7%	93.6%	96.2%	97.2%

※医業収益に運営費交付金（①政策医療分及び②施設・機器の元利償還分）を含む

評価指標 (数値)

○修正医業収支比率

区分	目標				
	令和6年度見込	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
法人全体	84.5%	84.5%	85.9%	87.3%	88.1%

評価指標 (定性的)

○改善へ向けた取組を実施し、経営指標を分析

週例会議において各センターの病床稼働状況等を把握するとともに、毎月の理事会において各種経営指標を分析し、経営改善に向けた取組の推進に努めます。

【各種経営指標の令和10年度時点の目標値】

○病床稼働率

総合（全512床）：93.0%、西和（全300床）：93.0%、リハ（全100床）：98.0%

○1日1人あたり入院単価

総合：97,500円、西和：74,100円、リハ：41,200円

○1日1人あたり外来単価

総合：25,320円、西和：16,289円、リハ：9,666円

○平均在院日数

総合：11.0日、西和：11.5日、リハ：60.0日

大項目Ⅳ 安定した法人経営
中項目2 安定した経営基盤の確立（続き）

中期計画

取組項目

3 医療機器及び設備の計画的整備

具体的な
行動計画

✓医療機能の維持・向上のための設備更新を計画的に進めます。

評価指標
(定性的)

○計画的な設備更新に向けた進捗

各センターにおいて、計画的な設備更新に向けた取組推進に努めます。

V 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画
別紙のとおり

VI 短期借入金の限度額
9, 000百万円

VII 出資に係る不要財産の処分に関する計画
なし

VIII 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
なし

IX 剰余金の使途
決算において剰余金が発生した場合は、診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

X 料金に関する事項

1 料金は、次に掲げる額とする。

(1) 平成20年厚生労働省告示第59号（診療報酬の算定方法）第1号及び第2号並びに平成20年厚生労働省告示第93号（厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法）並びに平成18年厚生労働省告示第99号（入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準）の規定により算定した額とする。ただし、労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）の規定による療養の給付に係るものについては平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の115を乗じて得た額とし、自動車損害賠償保障法（昭和30年法律第97号）の規定により損害賠償が請求できる場合の医療に係るものについては、平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の150を乗じて得た額とする。

(2) 前項の規定により算定することができない使用料及び手数料の額は、別に定める額とする。

2 料金の減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができる。

XI 県の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

施設及び設備については、県民の医療ニーズ、医療技術の進展、費用対効果等を勘案し、整備を行う。

施設・設備の内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	総額 約10, 623百万円	長期借入金、その他資本収入等

2 積立金の使途

診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

3 その他法人の業務運営に関し必要な事項

なし

(別紙)

1 予算（令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	197,955
医業収益	186,478
看護師養成収益	553
運営費交付金	9,374
補助金等	1,550
営業外収益	1,504
運営費交付金	577
財務収益	0
その他営業外収益	927
資本収入	18,252
運営費交付金	7,435
長期借入金	10,817
その他資本収入	0
計	217,711
支出	
営業費用	201,159
医業費用	197,364
給与費	95,985
材料費	66,726
経費	34,254
研究研修費	399
看護師養成費用	1,378
一般管理費	2,417
営業外費用	1,434
資本支出	24,241
建設改良費	10,623
償還金	13,618
計	226,834

【人件費の見積り】

期間中総額97,888百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

【運営費交付金の算定ルール】

県から交付される運営費交付金は、下記の算定基準に基づき、一定の仮定の下に試算されたものであり、各事業年度の運営費交付金は、県の予算編成過程において、基準を適用する等により計算し、決定される。

①運営

令和5（2023）年度の普通交付税の基準財政需要額算定方法等に準じて算定

②退職手当

承継職員等に係る退職手当のうち県職員期間としての勤務期間相当分

注）退職手当支払い見込みにより交付し、翌々年度の運営費交付金で精算する。

③法人化前の県債元利償還金

法人化前の施設・設備整備にかかる県債の元利償還額の一定割合

④法人化後の県債元利償還金

法人化後の施設・設備整備にかかる長期借入金の元利償還額の一定割合

なお、長期借入金等元利償還金に充当される運営費交付金は、経常費助成のための運営費交付金とする。

2 収支計画（令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	207,870
営業収益	206,366
医業収益	186,478
看護師養成収益	553
運営費交付金	16,809
補助金等収益	1,550
資産見返負債戻入	976
営業外収益	1,504
運営費交付金	577
その他営業外収益	927
臨時利益	0
支出の部	225,129
営業費用	220,788
医業費用	216,692
給与費	97,615
材料費	66,726
経費	34,254
減価償却費	17,698
研究研修費	399
看護師養成費用	1,492
一般管理費	2,604
営業外費用	1,434
臨時損失	2,907
純利益	△ 17,259

公立病院経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

(単位：百万円)

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経常収益	39,971	41,424	41,891	42,290	42,294
営業収益	39,675	41,144	41,604	41,967	41,976
医業収益	35,854	37,351	37,757	37,757	37,757
入院収益	24,363	25,551	25,957	25,957	25,957
外来収益	10,629	10,891	10,891	10,891	10,891
その他医業収益	862	909	909	909	909
運営費交付金収益	2,981	3,106	3,284	3,703	3,735
その他営業収益	840	686	562	506	484
営業外収益	296	280	288	323	318
運営費交付金収益	93	97	107	143	138
その他営業外収益	203	184	180	180	180
経常費用	43,405	45,409	45,109	44,355	43,943
営業費用	43,170	45,137	44,794	44,044	43,642
医業費用	42,439	44,213	43,972	43,233	42,835
給与費	19,903	20,089	19,520	19,141	18,962
材料費	12,757	13,470	13,500	13,500	13,500
薬品費	7,607	8,073	8,062	8,062	8,062
診療材料費	5,102	5,355	5,396	5,396	5,396
給食材料費	15	18	18	18	18
医療消耗備品	33	24	24	24	24
経費	6,829	7,027	7,027	6,686	6,686
減価償却費	2,863	3,550	3,847	3,829	3,609
研究研修費	88	78	78	78	78
その他営業費用	731	925	822	811	807
営業外費用	234	271	316	311	302
医業損益	▲ 6,585	▲ 6,861	▲ 6,214	▲ 5,476	▲ 5,077
経常損益	▲ 3,434	▲ 3,985	▲ 3,218	▲ 2,065	▲ 1,650
臨時利益	0	0	0	0	0
臨時損失	2,045	842	18	1	1
総損益	▲ 5,479	▲ 4,826	▲ 3,236	▲ 2,066	▲ 1,651
県運営費負担金	3,073	3,203	3,392	3,846	3,872

※令和6年度は決算見込

公立病院経営強化プラン対象期間中の病院別経営目標数値

区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
経常収支比率	92.1%	91.2%	92.9%	95.3%	96.2%
総合医療センター	94.7%	94.4%	95.5%	98.7%	99.4%
西和医療センター	89.3%	88.1%	90.0%	92.1%	93.6%
総合リハビリテーションセンター	88.4%	89.1%	93.6%	90.0%	90.4%
医業収支比率	91.7%	91.7%	93.6%	96.2%	97.2%
総合医療センター	93.1%	93.3%	94.7%	98.0%	98.7%
西和医療センター	87.0%	86.3%	88.7%	91.1%	92.7%
総合リハビリテーションセンター	86.8%	88.1%	93.0%	89.5%	89.8%
修正医業収支比率	84.5%	84.5%	85.9%	87.3%	88.1%
総合医療センター	85.5%	85.5%	86.2%	87.8%	88.4%
西和医療センター	82.8%	82.4%	84.8%	87.0%	88.4%
総合リハビリテーションセンター	80.4%	81.7%	86.7%	83.7%	83.8%

3 資金計画（令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	231,434
業務活動による収入	199,459
診療業務による収入	186,478
運営費交付金による収入	9,951
補助金等による収入	1,550
その他の業務活動による収入	1,480
投資活動による収入	7,435
運営費交付金による収入	7,435
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	23,695
長期借入金による収入	10,817
短期借入金等による収入	12,878
前期からの繰越金	845
資金支出	231,434
業務活動による支出	202,593
給与費支出	95,985
材料費支出	66,726
その他の業務活動による支出	39,882
投資活動による支出	10,623
固定資産の取得による支出	10,623
財務活動による支出	17,918
移行前地方債償還債務の償還による支出	74
長期借入金債務の償還による支出	13,544
短期借入金の返済による支出	4,300
次期への繰越金	300